

薬学		1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
		教養教育の卒業要件単位を修得するための講義・実習・実技科目を主体とし、専門分野への導入教育も並行して実施するとともに、地域と連携した講義や早期体験学習を行う。		物理、化学、生物系の基礎科学を主とした講義科目と、基礎科学系及び医療系の基礎薬学実習を実施する。		生物、薬剤、薬理、衛生、医療系分野を主とした講義科目、及びとやま薬学演習を実施するとともに、地域と連携した講義、演習、インターンシップを実施する。また、卒業研究を開始する。		医療系分野の講義科目と、臨床実務実習に備えて臨床前実習を実施する。また、卒業研究を継続する。		薬局・病院における臨床実務実習を実施する。また、卒業研究を継続する。		卒業研究を主として実施するとともに、基礎薬科学の反復教育とアドバンスト教育を実施する。また、希望者に対して短期海外派遣を行う演習科目を実施する。	
専門科目	基礎教育	薬学概論 医療学入門	製薬企業概論 解析学、外国語情報処理 医療心理学	薬学英語 I 行動科学	薬学英語 II 統計学 富山のくすり学	専門英語 I 企業薬剤師育成学 企業薬剤師インターンシップ 薬剤師キャリアデザイン学	専門英語 II とやま薬学演習	知的財産概論 薬学経済	海外薬学演習 I、II (1-6年次対象)		薬剤師博士論	基礎薬科学	
	物理系薬学		物理化学 I 分析化学 物理学	物理化学 II 応用分析化学 実習(分析化学) 実習(物理化学 I) 実習(物理化学 II)	生物物理化学	構造生物学 薬品物理化学 トランスポーター論							
	化学系薬学	基礎有機化学 I	基礎有機化学 II 基礎化学 化学・物理学実験	有機化学 I 物理有機化学 実習(有機化学)	有機化学 II 機器分析 実習(分子機能)	有機化学 III 創薬化学 合成化学 ケミカルバイオロジー I ケミカルバイオロジー II 無機化学							
	生物系薬学		生命科学 生物学実験	生化学 I 免疫・微生物学 I 生理学 実習(微生物学)	生化学 II 細胞生物学 人体機能形態学 実習(生化学)	免疫・微生物学 II 生体調節科学	先端生命薬学 分子遺伝動物学				薬学共用試験	薬剤師国家試験	
	衛生薬学				放射薬品学 実習(衛生薬学)	衛生薬学 I	衛生薬学 II 衛生薬学 III						
	和漢薬学			和漢医薬学入門 生薬学	東洋医学概論 実習(生薬学)	★東西医薬学 I	★東西医薬学 II	★和漢医薬学演習 ★和漢医薬学実習					
	医療薬学			薬理学 I 生物薬剤学 I 実習(薬剤学) 実習(薬理学) 実習(生物化・製剤学)	薬理学 II 生物薬剤学 II ●先端創薬学演習 実習(薬理学) ○脳機能科学概論	薬理学 III 物理薬剤学 医療薬剤学 病態薬物治療学 I 薬物動態学	薬事衛生法規 病態薬物治療学 II 病態薬物治療学 III 病態解析学					医療統計学	
	臨床薬学				実践薬学 I	実践薬学 II 臨床倫理学 臨床データ解析入門	病院薬学 保険薬局学	疾病医療学 臨床前実習 I 臨床前実習 II	薬局実習 病院実習			処方設計支援学	
	薬学実践実習										薬学実践実習(5-6年次前期対象)		
	薬学研究					研究室配属	卒業研究	中間発表会 ポスター					発表会 口頭
	卓越薬学教育プログラム					応用製薬コース (●:コース選択者に開講、3-6年次対象の夏期講習) 和漢薬コース (★:コース選択者に開講) 脳科学コース (○:コース選択者に開講)							

必修科目  
選択科目  
実習(必須)  
自由科目

教養科目	単位数	備考
基礎科目	12単位	基礎科目、理系基礎科目の科目
人文科学	1単位	は、専門教育に基礎教育として連動する。
社会科学	1単位	
自然科学	自由科目	
統合科目	2単位	左記単位を含め合計34単位を1年次に修得する。
高年次教養科目	自由科目	
理系基礎科目	14単位	

▶▶▶ 学士(薬学)に求められる能力

**幅広い知識**  
人文科学・社会科学・自然科学・健康科学の諸分野を学際的に捉え、多様な文化的・歴史的背景を持った地域や社会を理解し、行動する能力を身に付けている。また、「くすり」の観点からの地域や国内外の歴史と現状について理解し、医療、研究、行政に貢献する能力を身に付けている。

**専門的学識**  
基礎科学に裏打ちされた、医薬品等の安全性と有効性に関する深い学識、情報・科学技術に関する専門知識と規範意識、及び薬剤師業務に必要な基本的技能を修得し、和漢薬を含む薬物療法の実践及び公衆衛生の向上に寄与する能力を身に付けている。

**問題発見・解決力**  
健康と疾患に対する深い洞察力を持って、地域や国内外における薬学関連分野の問題や課題に取り組み、学術情報の収集・分析及び実験等の研究活動を通して得られる結果を論理的に考察し、解決に向けて議論・発表できる能力を身に付けている。

**社会貢献力**  
医療人としての規律、倫理等を守り、患者及び医療に関わる全ての人の立場を理解しながら、薬剤師として果たすべき役割を認識し、チーム医療・地域保健医療に対して責任ある行動をとる能力を身に付けている。

**コミュニケーション能力**  
他者との積極的な意思疎通を図り、共に学ぶ姿勢を心がけることで、豊かな人間関係を築きながら自己の成長へとつなげることに努め、地域や国内外における異なる考えや言語文化を有する人々の立場を理解し、誠実かつ柔軟なコミュニケーションを取る能力を身に付けている。